

エコけん ニュース

No 89 2006. 12

連絡先 NPO法人エコけん事務局

FAX 092-944-3012 (火~土 9:00~17:00)

e-mail eco_ecoken@ybb.ne.jp

発行責任者 清水佳香

http://www10.ocn.ne.jp/~ecoken/

11月活動報告



ふり返ってみると、11月は慌ただしいながら、少し充電できた気がします。これも、年間の見通しが立ち、隙間時間を使ったり、早めに取りかかることができるようになってきたからでしょうか。

恒例の見学研修も今年はいつもとよりちょっと長めの時間をとることができたうえに、移動中の車内さえ、自己啓発を促す研修が組まれ、充実していました。

エコロの森ステーションでは、後期MY企画の募集期間となり、企画書作りに頭を悩ます登録ボランティアさんの姿が見られました。さて、どんなMY企画が始まるのでしょうか。楽しみです。

冬場のエコロの森は、ここを根城に活動する人にとっても充電の時間が流れるようです。これからもよりよいスタイルを求めて話し合うことを大事にしていきたいと思えます。

日	自主事業	受託事業 (エコステ活動)
1	連携教室(青柳小5年生)	ボラ会(エコロ講座)
2		商品開発活動
3	コーディネーター養成講座参加	
7		ボラ会(エコクッキング) ピンゴ研究会
8		エコエコクッキング エコ環境教室(養護学校)
9		エコ環境教室(高校)
11	東小・花見小フェスタ参観	
12	「まつり古賀」出展参加	
14		エコ講座 交流会 ボラ育成研修
15	ニュースレター19号配信	リメイク教室(廃油せっけん:託児あり)
16		ボラ会(エコロ講座)
20	定例会	運営会議 教室会議 ボラ育成会議 展示会議
22		エコエコクッキング(託児あり)
25		廃材工作(卵キャンドル) かえっこショップ
26	環境施設見学研修	
29	エコけんニュース88号発行	エコ環境教室(任意団体) ボラ会(エコ講座) ほろゆき42号発行
30		リメイク教室(ペットコサージュ:託児あり)

エコロの森も充電中。リニューアル準備中です。



江戸のエコエコ

世界的にみても大都市だった江戸の街は、約 100 ~ 120 万人が住んでいたそうです。そんな大都市が、実は今で言う“エコエコ生活”を実践していたのはご存じですか？

日々の生活を暮らしやすいように知恵と工夫をこらしていった結果、物を回すルートが整備されたようです。これは地球環境のため・ゴミを減らすためというよりは「もったいないから物を最後まで使い尽くす」という考えが、大きく影響しているようです。



▶ 下駄の齒入れ

たとえば、今は割れた陶磁器類は、分別ごみとして出されたのち埋め立て処理をしています。ですが、物を大切に使用していた江戸の街では、欠けた程度のお茶碗を簡単に捨ててしまう事はしていませんでした。欠けたお茶碗は専門の職人に出すと、白玉粉で接着し加熱する方法で修理してくれ、それをまた使う ... というのがあたりまえだったようです。



▲ 鑄かけ(金属製品修理)

▼ 古着や



▲ たがや(桶・樽修理)

いろいろ調べてみると、今とは違う豊かさを感じる事ができました。現代は、物が大量にあり、何でも手に入る事が豊かさの象徴のようになっています。今と比べて物質的に恵まれていなかったであろう江戸の街では、物が回る事で、同時に人と人とのつながりが生まれていたと推測できます。そこには、現代にはない暖かさや豊かさを感じとる事ができました。私たちが江戸の街と同じ暮らしが出来るとは思いませんが、学べる事があるかもしれません。

研修旅行に行きました

11月26日(日)



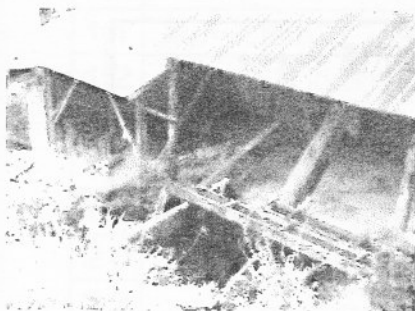
最初に「女子畑いこいの森」を訪れました。ここは九州電力の環境教育支援施設で、折よく色づいた紅葉の中、女子畑発電所ダム周辺の一角に素敵な散策路がしつらえてあります。自然観察や木工・林産業などの体験をすることができるのですが、特に興味を引いたのは、自然の森を再生する「新しい試み」がなされていることでした。「新しい試み」というのは様々な広葉樹の苗木を取り混ぜて、通常よりも密に植樹することで、あまり手がかからず比較的短時間で雑木林を再生することができるというものです。数年前の台風で荒れてしまった傾斜地を4年間に分けて植樹しており、散策するに従って雑木林が育つ様子を観察できるようになっていました。



ここ「女子畑発電所」は、大正時代に建設されたというレトロな建物で、発電機は思ったよりもずっと小ぶりでした。筑後川上流には女子畑に限らずたくさんの水力発電所が連なっていて、それらが超ハイテクな機器で集中的に監視制御されています。これら全15か所の発電所で、現在約8万世帯の電力を賄っていますが、設立当初はなんと北九州にまで送電していたのだそうです。「私たちは当時に比べていったいどれくらい電気を使っているのだろう」と少しドキッとしました。



▲この高低差で発電します



唐白 ▲

次に訪ねたのは「小鹿田焼の里」。細い坂道に立ち並ぶ窯元をのんびりと順番にのぞいていると、しばしば唐臼の音が響いてきます。唐臼というのは、水の力を利用して陶土を細かく砕く道具のことで、まるで大きな鹿威しのようなものでした。清浄でしっとりとした町並みが気に入って、家族へのおみやげを買いました。最後にキリンビール工場を訪ねて帰途につきました。

工コロの森の周囲には、「女子畑いこいの森」と同じくひとの手が入りながらも自然が息づいているような森が広がっています。いつか皆さんと散策してみたいですね。

エコ講座 「調べる班」報告

11月のエコロ講座は、「調べる班」担当。参加者グループの4名で、「冷え性の女性を救え！」をテーマに、おうちで簡単にできるエコロな暖かい暮らし方を調べ、発表しました。



CONTENTS

- ◆ あったかすまい（扇風機やこたつ、カーテンなどの提案）
- ◆ あったか衣類（重ね着やポイントあっための提案）
- ◆ リンパマッサージ（血行促進でからだもポカポカ）
- ◆ 心もあったまる飲み物（しょうが湯試飲）

運営体験をして

北崎美恵子

ウォームビズに興味があるという理由で集まった4人。でも $1 \times 4 = 4$ ではなく、それ以上の成果がありました。それぞれが自分の得意なことを楽しみながら内容を決め、提案、発表、体験と計画に沿って実行。実生活に役立てたいという気持ちで頑張りました。反省点もありますが、自分では満足しています。

主婦の私たちが学び仲間作ることができ、とても充実した貴重な体験でした。ありがとうございました。



まなび つどい つばき
エコロの森 再生・展示棟
ecolo no mori station

◆◆◆◆ 古賀清掃工場 再生・展示棟 ◆◆◆◆

☎ 811-3121 古賀市筵内1970-1 ☎ 092-942-1530 内線 (701)

☎ FAX 092-942-1532 ✉ メール ecosta@ecolo-no-mori.com

～事務局より～

❖ 今年も残すところあとわずかとなりました。みなさま、よいお年をお過ごしください。